

C-27 成人男子の肩部および袖ぐり周辺の形状に肉付きを考察  
湘北短大 ○武藤治子 実践女大 飯塚幸子

目的：私は先に成人男子700名(20-59歳)の身体計測値64項目を得ていす。その結果によすと20歳代と30歳以降の体型には、胸部形状に顕著な差異が見られす。そこで今回は衣服設計における重要な要素である肩部及び袖ぐり周辺の計測値を用い、その形状について、2年齢群別に考察す。

方法：肩部と袖ぐり周辺の形状に肉付きの計測値13項目(上部胸囲、背肩幅、背幅、胸幅、腕付根囲、腕付根幅、腕付根の深さ、胸部矢状径、前肩の長さ、越肩の長さ、頭側高、肩先高、肩傾斜角度)、示数値11項目(背肩幅/胸囲、背幅/胸囲、胸幅/胸囲、腕付根囲/胸囲、腕付根幅/胸部矢状径、前肩の長さ/背肩幅、越肩の長さ/背肩幅、背幅/背肩幅、胸幅/背肩幅、腕付根の深さ/背肩幅、肩先高/頭側高)を用いて年齢群別に比較検討す。

結果：1) 肩部の形状については、背肩幅と肉付きを示す項目において年齢群別、差が顕著である。2) 袖ぐり周辺の形状については、腕付根幅、腕付根の深さ、には年齢群間の差はみられなす。腕付根幅/胸部矢状径、腕付根の深さ/背肩幅、には、有意な差がみられす。